

## ストーマ装具選択フローチャートの妥当性を評価するための後ろ向き観察研究

### 1. 研究の対象

2019年6月1日～10月31日、2020年6月1日～2020年10月31日に国立がん研究センター中央病院 15B 病棟でストーマを造設した患者

### 2. 研究目的・方法

適正なストーマ装具選択では、装具の構造と機能を組み合わせた特徴を十分に理解したうえで、ストーマの局所条件や、排泄物の性状、患者のセルフケア能力、経済性、好みなどの多数の条件をすみやかにアセスメントし、患者個々に合わせた装具を選択することが求められます。

当院では術直後や術後初回退院時の装具選択はマニュアル化されています。しかし排泄物の潜り込みが予測される場合や、皮膚障害出現時には、病棟看護師がアセスメントし装具が選択されます。そこで、皮膚障害出現時のストーマ装具選択フローチャートを作成し、運用を開始しました。本研究では作成したストーマ装具選択フローチャート導入前後の皮膚障害の発生と装具選択の実態を明らかにしたいと考えています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は人体から用いられた試料は使用しません。

研究に用いる情報

- 1) : 基本的属性  
年齢、性別、術式、在院日数
- 2) ストーマに関する情報  
ストーマ排泄口の高さ・向き、ストーマと臍との距離、ストーマ周囲の皸、窪み
- 3) 入院中のストーマケアに関する情報  
使用装具、定期装具交換の可否、ストーマ周囲皮膚障害発生の有無
- 4) 初回外来でのストーマケアに関する情報  
定期装具交換の可否、装具変更とその理由、ストーマ周囲皮膚障害発生の有無

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〈照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先〉

〈国立がん研究センター中央病院の研究責任者〉

眞崎健太

国立がん研究センター中央病院看護部 13A 病棟

住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511(内線 6551)

〈研究代表者〉

眞崎健太

国立がん研究センター中央病院看護部 13A 病棟

住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511(内線 6551)

〈共同研究機関の研究責任者〉

研究責任者:清水陽一(国立看護大学校 成人看護学 講師)

住所:東京都清瀬市梅園 1-2-1

電話番号:042-495-2211(代表)